

除災得幸（仏さまの救いを頂く）

法華経譬喩品第三
こんしさんがい

今此三界

かいぜがう

皆是我有

ごちゆうしゆじよう

其中衆生

しつぜ

悉是吾子

にこんししよ

而今此処

たしよげんなん

多諸患難

ゆいがいらにん

唯我一人

のういくご

能為救護

今この三界は

さんがい

皆これ我が有なり

しゆじよう

その中の衆生は

ことごと

悉くこれ吾が子なり

ことごと

しかも今この処は

もろもろ

諸の患難多し

げんなん

ただ我一人のみ

くご

よく救護をなす

◆大意◆

この経文は譬喩品の一節で、お釈迦様は、「今、この三界に在るすべては、私が大安心の境地に導いてゆかなければならない世界なのである。だから、そこに生きているすべての人々はみな、私の子供なのである。しかも今この世界は、ありとあらゆる体と心の悩みに満ちあふれている。ただ私一人だけが、そこから救い導き、守ることができるのである」と説かれています。